

令和7年度（2025年度）

京都市立芸術大学大学院 音楽研究科 博士（後期）課程 入学試験問題

[語学試験]

英語

（実技系領域）

令和 7 年度（2025 年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程入学試験問題

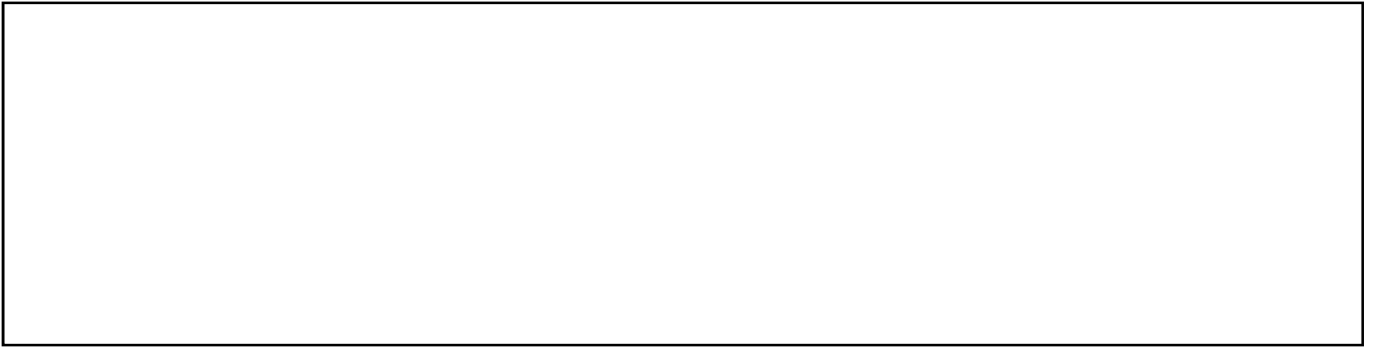
1. 次の文章を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典：Feintuch, Burt. 2019. “Cultural Integrity and Local Music in Cape Breton and New Orleans.” In *Cultural Sustainabilities: Music, Media, Language, Advocacy*. (Ed.) Timothy J. Cooley, p.216. Urbana: University of Illinois Press. （一部改変）

2. 次の文章内の太字下線部の意味について、本文の内容を踏まえて日本語で説明しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。



出典 : Kartomi, Margaret. 2001. “The Classification of Musical Instruments: Changing Trends in Research from the Late Nineteenth Century, with Special Reference to the 1990 Author(s).” *Ethnomusicology* 45/2: 284-285. (一部改変)

令和7年度（2025年度）

京都市立芸術大学大学院 音楽研究科 博士（後期）課程 入学試験問題

[語学試験]

ドイツ語

（実技系領域）

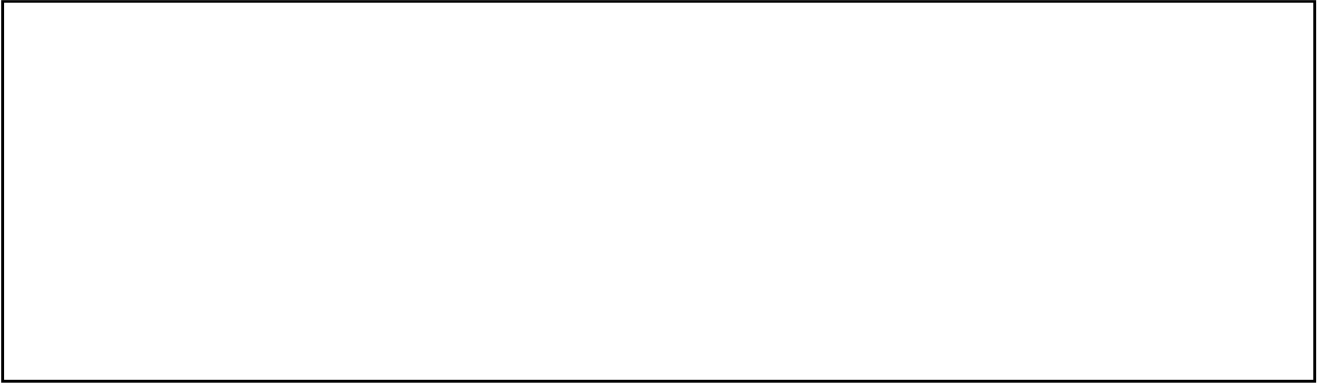
令和 7 年度(2 0 2 5 年度)

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士(後期)課程入学試験

語学(ドイツ語)

以下の全文を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。



出典：Elisabeth Schmierer, *Die Musik des 18. Jahrhunderts* (Laaber: Laaber-Verlag, 2022), S. 214–217. (一部改変)

令和7年度（2025年度）

京都市立芸術大学大学院 音楽研究科 博士（後期）課程 入学試験問題

[語学試験]

イタリア語

（実技系領域）

令和7年度（2025年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程入学試験問題

外国語（実技系・伊語）

1. 次の文章を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Gronda, Giovanna, Fabbri Paolo. 1997. *Libretti d'opera italiani*, Milano: Mondadori, p.1134.

2. 次の文章を日本語に訳しなさい。ただし6行目の（lire, vielle, liuti）は訳す必要はありません。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

出典：Gallico, Claudio. 1991. *Storia della Musica : L'età dell'Umanesimo e del Rinascimento*. Torino: EDT, p. 3. （一部改変）

3. 次の日本語をイタリア語にしなさい。

1. 私の家では、私は子供たちに皿洗いをさせています。
2. 彼女たちは、学校から帰る途中で、その事故を目撃しました。
3. 1ヵ月前、僕の友人のアレッサンドロが、プッチーニの『ラ・ボエーム』のロドルフォ役に抜擢されました。しかしその後、彼は病気になり、僕にその役が回ってきました。僕は今、その役ができるか不安な気持ちでいっぱいです。